尾道→松江の高速道路標識で見た地名 御調みつぎ・上下じょうげ・甲奴こうぬ・吉舎きさ・三良坂みらさか・三次みよし・馬洗川ばせんがわ・掛合かけや・口和くちわ・木次きすき・出雲いずも・穴道しんじ・むつかしいね

# けやき通信 2016.9月 NO.279

— 錦織 佳代子 —

## 読書ノート

● 屋根裏の仏さま ジュリー・オオツカ著 岩本正恵・小竹由美子訳 新潮社

20世紀初め、アメリカに移住した一世の日本人男性と結婚するため、2万人ともいわれる日本人女性が海を渡った。「写真花嫁」、1枚の写真でしか知らない男と結婚した彼女たちの人生がこんなにも過酷だったとは。ようやく日々の暮らしを手に入れた矢先に日米戦争。同じ女性として耐えられない。

貧困を、戦争を憎む。新鮮で簡潔な文体。著者は日系アメリカ人。

訳者岩本さんは翻訳半ばに逝去された。

● 世界の果てのビートルズ ミカエル・ニエミ著 岩本正恵訳 新潮社

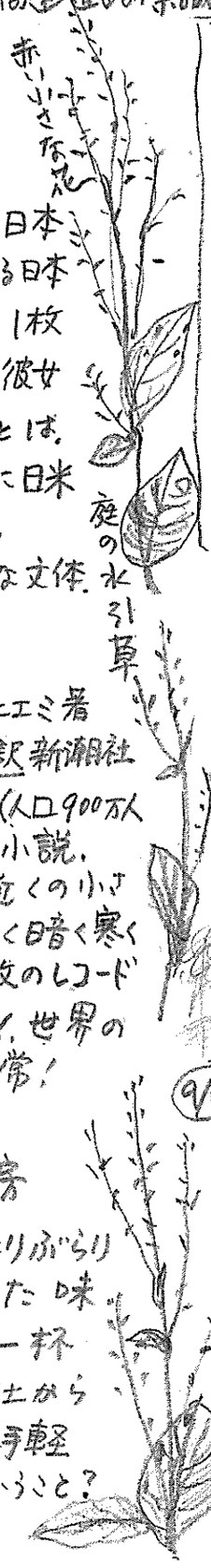
スウエーデンで刊行され空前のベストセラー(人口900万人のうち12人に一人が読んだことになる)の小説。スウエーデンの北の果て、フィンランド国境近くの小さな村、著者の半自伝的小説。冬は長く暗く寒く人口もまばら。そこで育った少年たち。1枚のレコードで初めてビートルズを聴いた衝撃!! 世界の片隅の荒々しくなつかしい、おかしな日常! フィンランドの森を思い出す。

● 旅の食卓 池内紀著 亜紀書房

著者のユーモラスな絵がいっぱい。ひとりぶらり出かけた旅先で出会った人、出会った味。小さな店のカウンターで私も一緒に一杯頂いたような気分。その土地の歴史や風土から食べ物は生まれる。コンビニ、スーパーのお手軽食品は、今の社会を反映しているということ? 物語もぬくもりもない……

地球温暖化の影響があるらしく、大自然の怒りなのか。水はおそろしい。

たびたびの台風、記録的な大雨・北海道・東北・九州地方その他各地で被害甚大。

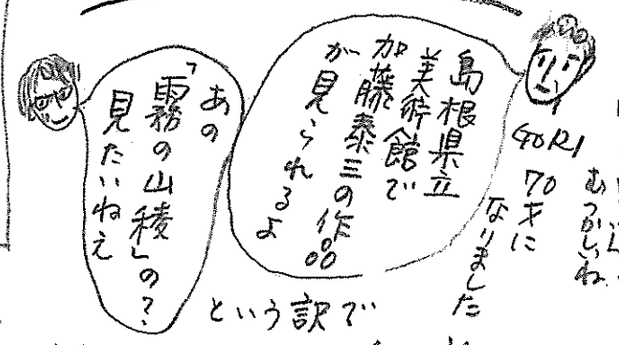



## かぼちゃのクリーム煮 かんたん おいしい

(2人) かぼちゃ 200g ——5ミリくらいにスライス
ワタも細かく刻む 一口に切って小麦粉まぶす。
玉葱スライス 1/2コ
しめじ小房に分け 50g
オリーブ油、小麦粉 } 適量
Ⓐ 牛乳 400cc
和風だしの素大さじ1
ピーマンも入れました
やさしいポターシュ 汁はいらない

・鍋にオリーブ油を入れ玉葱を炒め少し色づいたらカボチャ、しめじも加える。
・Ⓐを加え弱火でやわらかく煮る

## 美術館の旅




という訳で 松江まで一泊の旅

「霧の山稜」を開くと KAYOKO殿 GORI 1972と書いてあった。結婚前にもらった本。そうだったのね—。

カバーのストーブの絵

初版S16年 これはS47年再版の二見書房

すばらしい画文集です。

泰三は昭和19年、ニューギニアで戦死、33才。……知らなかった…読みながら著者のあたたかく大らかな人柄につつまれ、思わずクスッと笑って、沢山の絵と文に引きこまれる。この本贈ってくれてありがとう。44年ぶりに再読!

9/13 今治は激しい雨 AM7:30発

尾道が近づいて雨やむ——

1 奥田玄宗(日本画) 小由女(さゆめ)(人形) 美術館 三次(みよし)←尾道

柳澤孝彦設計

まわりの緑に溶けこんだ心落ちつく美術館。建物の高い軒下にススメバチの巣!! 係員に知らせて礼を言われた。

穴道湖 平田木綿街道の古い町並を歩く。

2 島根県立古代出雲歴史博物館 出雲大社すぐとなり

槇文彦設計 広々した庭、大社の森、特別な「気」がある。

2Fガラス張りのカフェがすてき。展示を見ないで冷やし汁粉をたべゆっくりすごす → 出雲大社へ

9/14

3 島根県立美術館 松江市←途中来待(きまち)の菅原天満宮へ

菊竹清訓設計

穴道湖に大きく羽根を広げた白い鳥のような美術館「山の日」にちなんで所蔵品から山にちなんだ作品を展示。

泰三作 木彫の山男像、荒削り。30センチくらいの高さ 横顔が端正! ほかに版画「薬師の頂上」著書3冊を展示。見にきてよかった——。

あとは「ふなつ」でおいしい出雲そばを食べて帰りました。よい旅。

夜は居酒屋へ ・出雲駅近くのホテル